



分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		紙の廃棄物は、紙の回収業者に依頼してリサイクルされています。有害化学物質はありません。他の廃棄物は、廃棄物処理業者に依頼してリサイクルされたり埋められたり適切に処理されています。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出しており、使用量削減に取り組んでいます。統計を取り始めた2021年度から比べると使用量も2022年度から減少傾向です。全照明のLED化、昼休み時間の照明の消灯、社用車をリース契約として定期的に新車と入替をしています。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを用いてCO2排出量を把握し、排出抑制に取り組んでいます。2022年度からCO2排出量は減少しています。社用車を毎年2台くらいCO2排出量の少ない新車に入替えていて排出抑制に取り組んでいます。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		社内にペットボトルや缶の回収箱を設置して、リサイクル向上やポイ捨てによる生態系への影響を及ぼさないように取り組んでいます。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		廃棄するゴミを減らし、再利用しやすいように分別することに取り組んでいます。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		自社の水道使用量を把握し、節水に取り組んでいます。節水コマも導入して、対策しています。月の使用量を26m以内にはしています。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		環境に配慮した製品の購入に取り組んでいます。コピー用紙は、森林認証商品「FSC」マーク入りの物を使用しています。紙ファイルは、「エコマーク認定商品」を使っています。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		来客用のお茶をペットボトルにして、お茶殻の廃棄が無くなり飲み残しの処理も無くなりました。昼食時の食べ残しの廃棄を無くすことで、食品ロスの削減に繋がる取組みをしています。	1	2					6.4								12.3	14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいます。												11.6 11.7		13.1 13.3		15				17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		エネルギー効率の見直しとして、社用車を毎年2台くらい新車に入替えていて環境に優しい取組みをしています。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		植林等の森林整備活動に取り組んでいます。						6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		営業車に、ハイブリッド車を導入しています。県外に講習会に行く時は、公共交通機関の利用を推進しています。										9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13						17.2	

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		毎年、複数回の講習会に参加して、技術の向上に努めています。また、照査をする担当者が所要所でチェックする体制を取っています。			3.9						9			12.4										
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		階段に手すりを設置したり、倉庫への通路の暗がり解消のためにセンサーライトの設置などを行っています。									9.1	10	11.7									17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15					17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7						12.2	13.1			15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	益城町の復興に、道路を通して熊本県や益城町と共に取り組んでいます。渋滞を解消するための片側2車線化や幅の広い歩道など住みやすい街づくりに向けて取り組んでいます。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15				17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に取り組んでいます。白川の清掃ボランティアにも参加しています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		水と簡易トイレの備蓄とポータブル電源を準備しています。ハザードマップを確認して検討した上で、洪水が発生した場合は近くの公園に避難するように回覧しています。				4								11.5		13.1					16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4							10.2	11.5		13.1				16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1								
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	高校生の職場体験の受入れを行っていて、測量の業務の理解を深める機会を提供しています。				4					8.6		10.2									17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	くま活サポートに登録していて、新卒学生の県内就職を後押しする取組みを行っています。				4.4					8.5 8.6											17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15				17		